

●**木津川土砂環境部会が開かれる** 11日 里山の会が一昨年取り付けた6基の竹蛇籠のうち上部に乗せていた蛇籠が右岸では流されて消失しています。左岸は陸上部分を残して先頭が消失しています。しかし、それぞれ下部が健在で水中でしっかりと役割を果たしているようです。これは10月の台風21号による増水(4000ト)が長く続いた影響と思われます。これまで一定の増水や冠水が繰り返されて来ましたが、ビクともしていなかった頑丈で驚くほど強いものでした。一度、現地にお越しただいて、洪水のつよさや竹蛇籠をご覧いただけるとありがたいところです。会議では続いて聖牛の設置の報告は、地域住民と国交省、加えて若手学生の皆さんとの三者が力を合わせて作り上げたことが評価される報告がされ、今後は聖牛の効果を検証して成果が確認されれば20.6キロメートルで水制工として本格設置を行う計画が報告されました。期待したいところです。

●**「木津川はどんな川・地域説明会」の開催日時、場所が決定** 里山の会の20年間に及ぶ調査研究観察で積み上げた刊行物や資料を基に展示会を開き、木津川への理解を深める機会とする目的を持っています。里山の会の総力を発揮して開催するものです。2月12日(月)の宇治南コミセンを皮切りに八幡市文化センターで2月18日(日)、2月24日(土)には城陽市北コミセンで開催いたします。そして3月3日(土)は京田辺市府営団地第二集会所、最終回は3月18日(日)木津川市山城町のアスパアでの開催となります。いずれの会場も午前10時開場で、13:00前後に説明を予定しています。展示は当日限りで一応撤去時間も必要ですので、16時を閉会予定となっています。五会場でのお話は解説者の特徴や専門性を持った内容で準備を進めております。お話の内容が決まれば週刊ニュースで随時お知らせいたします。初日の宇治市は近くの有料駐車場をご利用ください。

●**北野大輔さんから、軽自動車(ワンボックス)の提供寄付をいただきました。**新車の購入を検討されているので、里山の会が使用の意思があれば検討するとの寄付のお話をいただきました。播川理事長が1月13日お父様と大輔様から車を譲り受けていただきました。丁寧にご使用されている素晴らしい車です。里山の会は、この2年間、大植登様からご寄付いただいた車が耐用年数を超えているので、廃車になってから、少し不自由をしていました。新年度からは河川協力団体の活動(木津川沿川での活動)の機会が増えてくる見通しです。大いに威力を発揮してくれるものと思われます。親切に寄付をいただきまして北野様、有難うございました。

●**大晦日に薪割機が購入されて試運転をただけでした。**その後、森島さんが少し使ってみてくれました。引き続き16日、本格的に約2時間運転をしました。節の無い物なら直径50センチ太さもわけなく割れます。そして最長50センチに玉切りされていなくてはダメで、長いものは立てて割り込みのスキができる割りがスムーズに行えます。一応長さ50センチが必須となります。押す力はかなりなもので随分と威力があるようです。大いに使ってほしい素晴らしい道具がまた一つ増えました。能力は、原木の積み上げた大きさが高さ150センチ幅1700センチ位のもので約2時間30分の連続作業が出来高のようです。これは二人の大人が頑張った作業量でした。残りのナラ枯れ木を始末するには10時間が必要かと思われます。選別して割れやすい物から手を付けていただければいいので、割りにくいものはあと回しにしてください。どなたでも時間があればお手伝いにお越しください、お待ちしております。

●木津川希少種植生調査の1月度の実施を本日18日13時から3班に分かれて実行します。調査実施にあたって、木津川出張所から現地視察においでとなります。視察地は左岸の京田辺市の絶滅危惧種の生育地を予定しています。年明け早々本当に厳しい寒さが続きましたが、木津川堤防ではその中でも春を待つ野草はしっかりと根を張り頑張っています。絶滅が心配されるものも芽を出しているかもしれませんね。調査が楽しみです。

●里山農園での2017年の活動をまとめていただきました。毎週の作業日を火曜日と土曜日の二日を設定して取組みがされています。1年間で90日の大変多くの出勤となっています。夏野菜や根菜類を栽培で、生い茂る雑草の刈り取り、そしてイノシシの侵入を防ぐ徹網の補修、教育棟や観察棟周囲の手入れ、激しく繁茂する淡竹の伐採、息をつく間もない作物への手入れ、本当に枚挙にいとまがない多忙な取組みを進めていただきました。この取組み以外に土・日曜日の毎週のイベントとその事前準備を加えると一週間7日のうちほとんどが里山の会の活動とつながることになります。本当によく頑張ってください。ありがとうございます。

●1月21日(日)13時から京田辺市中部住民センター(せせらぎ)で木津川沿川活動団体交流会が開催されます。今回は昨年秋の台風21号による被害が想像を超えるものであったこと、そして各地で内排水による浸水被害が発生している状況の説明と併せて、地球温暖化問題を考えて学びあうことになっています。里山の会からは聖牛の取組みについて活動発表を行います。参加費は無料ですので、お気軽にお越しください。お待ちしております。

●会員各位の日頃のご協力に感謝しています。ところが昨年末現在で2017年度の会費の未納入者がかなりおいでの状況です。今、里山の会では会費納入率のアップを目指しております。財政問題を重要な課題として、納入率アップを目指しております。心ならずも納入が遅れておられる皆さん、出来ましたら次年度分も含めて前納を考えていただければ誠に幸いです。郵便振替の折には、一言会誌43号の感想をお願いします。

●恒例の里山展は2月13日(火)10:00から18日(日)15時まで 京田辺市中央図書館「ギャラリー かなび」で開催します。1年間の活動発表を行いますので、ご来場をお願いします。今年はサンショウウオの成体発見を追求して10年目にして初めて出会うことができました。また20年間木津川の希少植物を観察調査してその保全に国交省が重い腰を上げてくれるという成果を得ることができました。こうしたところを発表いたします。ご期待ください。